

報告1 酒々井町防災行政の推進について

地域防災計画を改定

- 全国23町村
- J A 成田市
- (株)タイヨー

災害応急対策活動の相互応援に関する協定
 応急生活物資等の供給援助協力

締結



－防災計画概要版を各世帯に配布します－



酒々井町地域防災計画については、防災関係法令の改正や上位計画の見直しを踏まえ、東日本大震災で被害を被った地域の教訓をもとに、庁内における地域防災計画検討委員会や防災懇談会の開催、関係機関との協議や住民からの意見公募を経て、2月21日に酒々井町防災会議条例に基づく酒々井町防災会議を開催し、改定しました。今後、酒々井町地域防災計画の概要版を作成し、各世帯に配布する予定です。

－各種災害応援協力体制の整備を進めています－

防災・減災を図るため、災害応急対策活動の相互応援に関する協定を全国小さくても輝く自治体フォーラムの会に加盟する全国23の町村と締結し、さらに、成田市農業協同組合及び株式会社タイヨーと災害時における応急生活物資等の供給援助協力に関する協定を締結し、町民への応急生活物資等の供給に関する援助協力体制の整備を図りました。今後、更に各種災害応援協定の締結を進めます。

－防災行政無線が受信できる防災ラジオを配布・販売－

防災ラジオについては、災害時における防災情報及び緊急を要する行政情報等を迅速かつ確実に伝達するため整備を進めていましたが、1月末に完成し、希望者に配布を始め、2月末現在で1,100台配布しました。屋内で防災行政無線放送が聞き取りにくい方には、是非ご活用していただきたいと思えます。

当町の防災行政につきましても、今回改定しました酒々井町地域防災計画に基づき推進してまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

役場で防災ラジオを販売

販売価格（※原則各世帯1台）

防災ラジオ	1台	2,000円
外付けアンテナ	1本	500円

[75歳以上の高齢者のみの世帯で、希望する世帯には、無償で貸与します。]

詳しくは広報ニューしすい3月号をご覧ください。

(問合せ先) 役場総務課危機管理室



報告2 庁舎耐震補強設計等について



昭和47年建設 役場本庁舎

庁舎耐震補強設計・大規模改造実施計画

災害対策の拠点

役場庁舎耐震化

平成25年度は代替施設等を検討

庁舎の耐震補強設計及び大規模改造実施設計については、当初2月末までに設計が完了する予定でしたが、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づく耐震判定委員会の認定審査に予定以上の期間を要しているため、設計委託期間を3月下旬まで延長しています。

設計案では、耐震補強の工法等を検討した結果、重要な防災拠点として国土交通省が定める目標値であるIs指標値0.9をクリアできる見込みとなっています。

しかし、補強工事にあたりプレハブ庁舎（東庁舎）が施工上の障害となること、及び耐震基準を満たしていないことから、代替施設を確保し、プレハブ庁舎を撤去しなければ施工ができない状況にあります。

また、アスベスト対策に係る工事についても、事務を行いながら来客等の対応を行わなければならないため、一時的に事務や会議等のスペースを確保する必要がありますので、平成25年度は代替施設の検討など作業スペースの確保や耐震補強等の準備を進めます。



報告3 酒々井町介護支援ボランティア制度の創設及び実施について

高齢者の社会参加と地域貢献を支援

介護支援ボランティア制度がスタート



ボランティア

ポイント

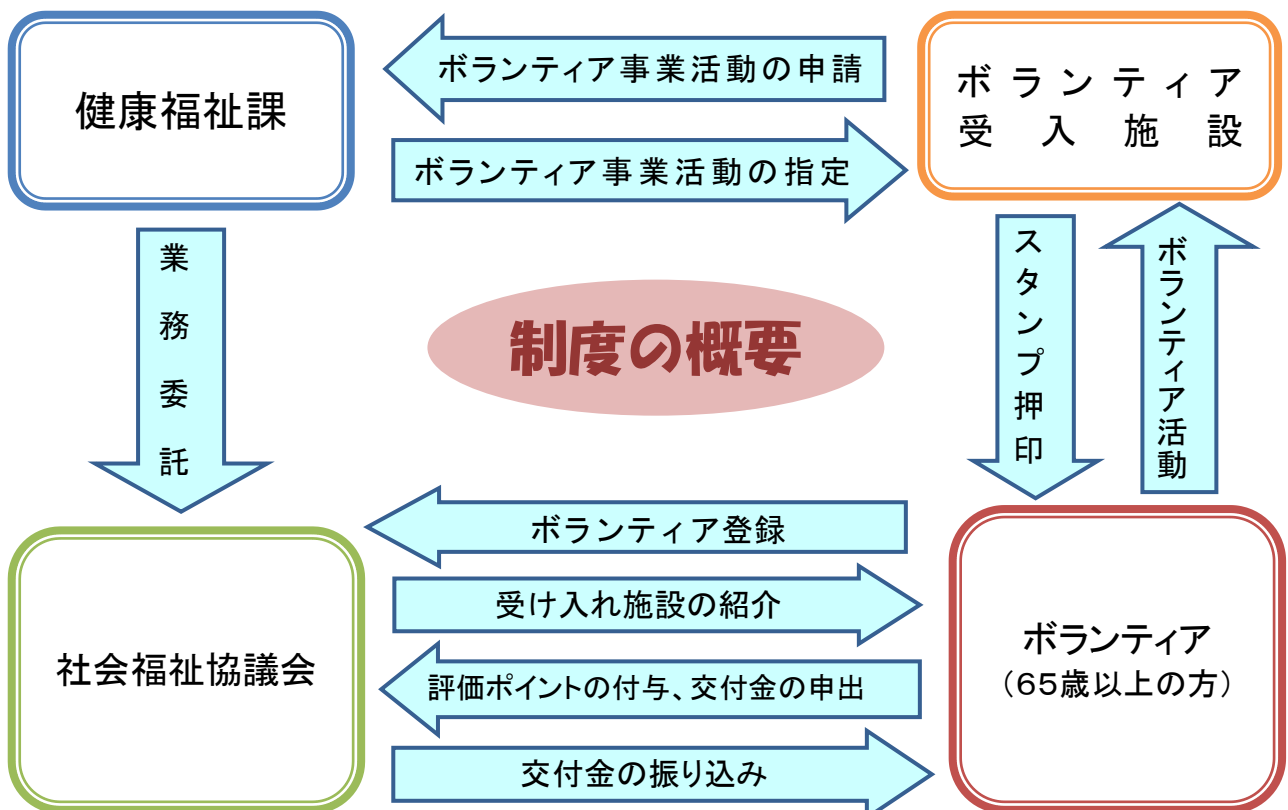
交付金

高齢者の増加により、介護や支援を必要とする人が確実に増えていくことが見込まれる中で、町では高齢になっても要支援・要介護状態にならないよう、介護予防の普及、啓発や各種の介護予防教室の開催など、効果的な介護予防施策の展開に努めているところです。

このような中で、高齢者がボランティア活動を通して、社会参加や地域貢献することを奨励及び支援するとともに、高齢者自身の健康保持・推進を積極的に支援する施策が求められていることから、このたび介護保険法第115条の45第1項に規定する地域支援事業（介護予防事業・一般高齢者施策）として酒々井町介護支援ボランティア制度を創設し実施することとしました。

－65歳以上の方のご登録をお願いします－

この制度は、65歳以上の高齢者の方が介護支援ボランティアの登録をしていただき、町内の介護保険施設等でボランティア活動を行った実績に応じて、ポイントが交付され、そのポイントに対して交付金が支給される仕組みであり、介護予防のさらなる推進と、介護保険の給付費の抑制などにつながるものと期待しています。



報告4 酒々井南部地区新産業団地の状況について

SHISUI
PREMIUM
OUTLETS®

酒々井プレミアム・アウトレット

4.19(金)12:00

グランドオープン **121店舗・開業時最大店舗数でオープン**

酒々井町南部地区新産業団地に、三菱地所・サイモン株式会社（旧チェルシージャパン株式会社）が開発を進めている「酒々井プレミアム・アウトレット」については、4月19日金曜日の正午12時にグランドオープンすることとなりました。

「酒々井プレミアム・アウトレット」は、東関東自動車道酒々井インターチェンジから約1キロメートルに立地し、成田空港から車で約10分となる利便性を有し、店舗面積約21,700平方メートルの中に、121店舗が出店し、プレミアム・アウトレット開業時としては最大の店舗数でオープンすると聞いています。

町は酒々井コミュニケーションセンターを設置

町としては、年間約350万人のプレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、町の観光物産等を広く展示紹介する情報発信コーナーを設け、町のイメージアップと中心市街地への誘客を図ることを目的に、同施設のフードコート内に「酒々井コミュニケーションセンター」を設置し町のPRに努めます。

なお、「酒々井コミュニケーションセンター」の開所式を「酒々井プレミアム・アウトレット」のグランドオープンと同日の4月19日に行う予定です。

さらに、「酒々井プレミアム・アウトレット」の開業により、同地区の使用収益が開始されることから、これまでご協力をいただいた地元関係者の方々に感謝を込め、UR都市機構と協力し、3月27日にまちびらき式を地区内で開催します。

また、区域内の土地活用については、酒々井南部土地区画整理事業施行者であるUR都市機構と一般地権者の皆様と協力し、早期の土地活用の実現に向け、引き続き企業進出の推進を図ります。



酒々井コミュニケーションセンター（イメージ）